

神戸のお嬢さん

エスプリのある
素敵なお嬢さん

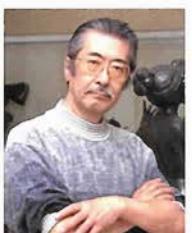
安田莉奈さん

(神戸山手短期大学表現芸術学科1回生)

私は1970年カンツォーネの国から帰国後、神戸まつりを機会にブラジルサンバにのめり込んだ。月刊神戸っ子のサンバチームで素敵なお母さんとお姉さんとともにステップを踏んでいた妹さんが莉奈ちゃんであった。実際に愛くるしかったことを想い出す。

愛徳学園にて教養と国際的センスを身につけられ、エスプリのある素敵なお嬢さんに成長された。幼少の頃からの神戸っ子の感性は、これからもっと大きく開花してゆくだろう。

(花時計前にて)



推薦者
彫刻家
新谷秀紀



神戸のお嬢さん

彼女が歩くと
神戸の街は
ステージになる

尾崎由佳さん
(千里インターナショナルスクール3年生)

由佳さんは海外旅行がお好きで、特にアメリカには十数度訪ねられています。だからネイティブな英語はペラペラ。韓国のミュージシャンにも興味を持たれ、韓国語もペラペラ。2003年には韓国テレビ局のオーディションで準優勝、KBSにも出演されています。

ご家族と旅行に出ても車の中はずつと由佳さんの唄が流れています。いつも明るく、活発で、将来どんな方面でご活躍なさるのか、とても楽しみです。

(東遊園地にて)



推薦者 上場正俊
プロフェッショナル・
ジャズドラマー
株式会社
プロジェクト・M取締役



科学する心を呼び覚まそう！

兵庫県立人と自然の博物館レポート



キラキラと輝く博物館の建物は、実は橋にもなっています。著名な建築家、丹下健三氏の作品だそうです

「ひとはく」の愛称で親しまれている兵庫県立人と自然の博物館は、人と自然の関わり合いを通じて、身近に自然を学ぶことができます。さつそく3階から1階へと常設展示を見ていましょう！

まずは県内に生息する動物たちがお出迎えしてくれます。

兵庫県にはたくさんの動物が生息しているのですね。県内の生物、地形、人の生活と自然の関係などを映像やジオラマで体感すると、ホントに兵庫県の自然は多様な顔を持つのだなあと感心。兵庫県が「日本の縮図」と言われているのも頷けますね。

人と自然のコーナーでは、私たち人間の生活について深く考えさせられます。自然と調和した昔の人たちの暮らしから学ぶことも大切と思いました。「週間の生活を使う「モノ」の展示では、私たちの

美しい自然や田園と近代的なニュータウンが融合する三田市。兵庫県立人と自然の博物館は、自然を楽しく学べるだけでなく、私たち人間の営みも視野に入れたこのまちにふさわしいテーマの博物館。後藤彩子さんの案内で、館内をめぐってみましょう！

生活がこんなにたくさんのもと水を使用しているなんて、

2階に移動して、まず目を惹くのは化石工房。実際にここで化石のクリーニングなどの実演をするそうです。

生物たちの世界をかいまることができるこのフロア。



県内に生息する動物が段の高さは生息地の標高を示しています
5人家族がわざか一週間で
なんにモノを使用するとはち
よつとピックリ

普段全く自覚していないのでピックリです。何気ない心がけひとつが重要なかもしれません。

ナチュラリストの幻郷のコ

ーナーは、貴重な標本コレクションがズラリ！虹色に輝く蝶の羽根はウットリするくらい美しい…。蝶を中心に26万点にもおよぶ江田茂コレクション、鳥類においては世界トップレベルの小林桂助コレクション、ほかにも世界一と言われるハチのコレクションやノミのコレクションなど、貴重な資料を見学することができます。

ちよつと難しいテーマでも、生物の視点で撮られた映像やテレビゲームで、楽しく学ぶことができます。

緩やかなスロープを下りて1階へ。そこはボルネオの熱帯雨林。生い茂る森には、オランウータンが遊び、ドリアンの実がなっています。世界最大のお花、ラフレシアも咲いています。ダイナミックなジオラマで、本当にジャングルにやつて来たかのようです。そのとなりは、地球・生命と大地のコーナー。約35億年前に誕生した生命の軌跡を、貴重な化石標本をもとにたどります。特に大きなゾウの化石にはビックリ！「氷河期に北米で生息していたアメリカ

オドロキと発見がいっぱいのスタッフの解説、聞かなきゃ損ですよ！



これはゾウの歯の化石。大きいでしゃべりはこうのように手にとって体感できるのです

マストドンの化石です」と、プロアスタッフの阿部さんが懇切に説明してくれました。

ひとはくでは毎日、11時30

分～と14時30分～の2回、フロアスタッフによる展示ツ

アーをおこなっています。ま

た、ミュージアム・ティーチ

ャーが突如あらわれ、子供た

ちに解説するということもあ

るとか。ちなみにスタッフ全

員、お願いすればいつでも展

示解説をしてもらえるそう

ので、見学中にスタッフを見

かけたらいつでもお気軽に声

をかけて下さいね。

ひとはくは展示のみならず、研究教育機関としての役割も重視し、なんと年間200を越えるセミナーを開催しています。さらに4階のひとはくサロンでは資料の開示のみならず標本の一部を手に触れることも。おどろき→発見→学習→体験の流れを育むひとはくで、純粹な「科学するよろこび」を感じてみませんか。

兵庫県立人と自然の博物館

三田市弥生が丘6丁目 ☎079-559-2001(代) <http://hitohaku.jp>

【休館日】月曜日(祝日の場合はその翌日)、臨時休館日(平成18年1月24日～平成18年2月9日)

【開館時間】10時～17時(入館は16時30分まで)

【入館料】大人200円、大学・高校生150円、中学・小学生100円

【アクセス】神戸電鉄フラワータウン駅下車、すぐ

- 毎月第3日曜日は「はくぶつかんの日」。ファミリー向けの参加型イベントやオープンセミナーを月替わりで実施しています。

企画展

古生代の生物

2006年2月18日(土)
～6月11日(日)

古生代(5億4千万～2億5千万年前)は、多様な生物が現れた最初の時代。現在の生物との結びつきについて、わかりやすく展示します。

こさか みすず
小阪美鈴
<書家>

—感じられる書を—

震災の記憶を、現世とたましいの世界を信じながら書かれた「命の足跡」の書。一方、春になると書きたくなるという「桜」の文字は、色づく桜の木のように。「お花がわらつた」と書くときはかわいらしい花のようになるで水墨画のような文字を書く書家。そんな世界にファンは多く、イギリスで出版される夏目漱石の翻訳本のタイトル題字を手がけたり、歌手・平松愛理さんとのコラボレーション、陶芸家とのグループ展など、さまざまなジャンルのアーティストたちとも交流。「書は、たくさんのシーンでお役に立てるものなのだと実感しています」と小阪さん。「墨・文字・言葉で創られる書は、東洋人の心には必ず届きます。私は、読むだけでなく感じられる作品を作りたい」。

三菱UFJ信託銀行神戸ビル「菱の実ギャラリー」で





KOBECCO 2006

なむ
南 泰準

<キーボード奏者>

—薄っぺらじやない若者—

人気ロックバンド「ぱま」のキーボード＆作曲担当、南（なむ）君。ライブ会場は女の子のファンで常に満杯。きっとモテモテで毎日を軽く楽しく生きる、今どきの若者だろう、とイメージしていた。が、実際に会って話してみると、まったくキャララキャラしていらない。冷静に自分を客観視し、どうすべきか見極めて失敗知らずで前進する、かなり大人な男子だった。「なんとなく…ではダメ。お客様が聞きたいと思う音楽をきちんとリサーチし、自分達のやりたい音楽とのバランスをとつて演奏するから、お客様も歩み寄ってくれる。音楽のクオリティに時代感、それに演奏者と観客のスタイルが相まって、初めてライブが100%になると思うんです。」幼い頃からクラシックに親しんできた。影響を受けた音楽は…ベートベン、バッハ（ふむふむ）、ミスチルに（！）、アンパンマンのテーマ曲（？？？）。アイデンティティある曲に惹かれる、枠を固定してはもつたいない。自分を成長させてくれるものならば、ジャンルを問わず何からでも学びとつてきたい、と。だから本業である学業もしつかりきつちり。21歳のイケメンは弁護士を目指す、関西学院大学の法学部3回生という顔も持つ。

世代を越えて、夢と希望を！

神戸ブリランテオペラ協会代表でオペラ歌手の中嶋常乃さんが主宰する「こうべどうようの会」がスタートしたのは18年前。童謡を歌う会の中では夫婦の会員も多い。また、親・子・孫の三世代で参加するミュージカルの部もあり、神戸・明石・三木・姫路の会員が、コンサートやさまざまな活動を通して、兵庫県民に夢と希望をプレゼントしている。

中嶋さんは昭和20年代頃、祖父・祖母・従兄弟たちと親戚と大勢で生活していたことがあり、そこには世代を越えた楽しい交流があった。それらが失われている今日、中嶋さんは音楽を通して人々に幸せを贈りたいと願い、長男で明石芸術家協会代表・中嶋将晴さんと活動を続けていた。中嶋常乃さんと将晴さんの指導は、正しい呼吸法、发声法と歌の心を判りやすく熱心に教えてくれると、会員の皆さんに感銘を与えている。また震災後に一人暮らしとなつた会員からは、毎月の例会で励まされ健康を取り戻すことができたと喜びの声も。歌は童謡からポピュラーまでとレパートリーが幅広く、楽譜が苦手でもOK！神戸での例会は、御影公会堂で第3日曜日に開かれていた。

●ある集い●こうべどうようの会



「美味求真」のおいしい集い

感性をはぐくむ「感育」を、これらの教育の中心にすることが大切と言う、神戸大学名誉教授で近畿大豊岡短大教授・鈴木正幸先生。日本全国、世界各国の美味しいものを食べ歩いてきたグルメな鈴木先生にあるのは「美味求真」というところ。「美味求真」は、単に旨いものを涉獵するだけではない。「感育」の実践として必要かつ必須の実践である。「教育」よりも広く、高貴ないとみなしてとらえた。子どもたちに『旬の味』を植えつけるのは、教育ではなく感育の領域である」。

そんな持論をもつ鈴木先生が主宰し、11月28日に六甲の「浪漫亭」で食事会が開かれた。参加したメンバーは、昨年、ドイツのバーデン・バーデン、フランスのストラスブールに、美しい自然と街並み、そして美味しい料理を求める旅に参加した仲間たちが中心。鈴木先生とラジオ番組で共演しているフリーアナウンサー・加藤逸子さん、ディレクター・大田博之さんなどもお仲間。「丸山シェフの魚介の腕前を存分に味わって」と鈴木先生。イセエビ、アワビ、毛ガニ、ブイヤベース…と、魚介のフルコースを堪能し、テーブルごとのお話にも花が咲いたひとときだった。

●ある集い●鈴木先生のお食事会



磨けば光る 素肌美人大ファイバー！ ゲストにクリスタルキング・ムッシュ吉崎



尾崎蒿子代理店のあいさつ



奥村久雄・里子扶洋薬品株社長夫妻のあいさつ

美と健康は、21世紀のメインテーマ。素肌美人を創る扶洋サロン神戸が主催する“2005 Fuyo christmas Party”が12月16日の昼夜2回開かれ、約1200人近いメンバーや、新神戸オリエンタルホテル真珠の間に集つた。

トップシーンはメンバーのクリスマスソングで開会。アットホームな雰囲気の中で、尾崎蒿子代理店が扶洋サロン神戸を代表して「2005年もおかげさまで扶洋サロン神戸は大飛躍。2006年も素肌美人づくりに挑戦を」とございさつ。

続いて奥村久雄扶洋薬品(株)社長夫妻は、「全国で74万人の人々が扶洋ホーリムスキンケアを愛好されていて、素肌を磨き美しくなつていただいであります。本当に嬉しいことで、約25年近い間にこれほ

王小飛さんファミリー



会場は大ファイバー



ゲスト・ムッシュ吉崎に花束を





高橋社長、市橋雅子代理店、ムッシュ吉崎、奥村里子さん、奥村社長、杉谷大阪支店長、調調子(ツキヨ)市橋油男代理店、山本氏、麻京子代理店、宮川承子代理店



ムッシュ吉崎を囲んで



扶洋神戸所長会の方々

どの普及をみたのも、メンバーの皆さまのご支援のおかげです」と語った。この扶洋ホームスキンケアの機器づくりを担当する、コメット電機株式会社の高橋佳幹社長は、「扶洋ホームスキンケアのマシンは、世界一の美容マシンだと誇りを持つて

創つております」という自信に満ちあふれた言葉から、商品の良さが伝わってきた。

愛用者のためのビューティフルライフ情報誌「コスマジエンヌ」の編集長でもある春名薰(スミク・デュオ)の愛用者である女優のとよた真帆さんの「肌の管理は女優としてのビジネスの一部」という気合いに満ちた言葉に感動いたしました」とコメントした。ディナーの後はクリスタルキング・ムッシュ吉崎のパワフルなショータイムに会場は大ブイーバー。すてきな美と健康のクリスマスパーティだ



扶洋サロン神戸

神戸市中央区磯辺通3-2-17 ワールド三宮ビル4F
☎078-231-4840

憲二先生 「旭日中綬章」受章祝賀会
 熊本音楽幼稚園 創立50周年
 武蔵ヶ丘幼稚園 創立30周年 合同祝賀会



上は熊本の出田憲二先生の受賞を祝う
 右は出田憲二先生ご夫妻と共に風さやか

★ 昨年の秋、11月4日は、熊本の叔父・出田憲二（83歳）が皇居にて「旭日中綬章」を受賞。その祝賀会は、熊本音楽幼稚園創立50周年、武蔵ヶ丘幼稚園創立30周年でございます。

元来の私は引っ込み思案な性格ですが、光りものの衣装をつけると、舞台のウルトラマン。ピカリと光って変身し、光りものに踊らされる摩訶不思議な風さや流でございます。

熊本で出田憲二先生の 「旭日中綬章」を祝う

（風さやか叔父）

NHKホール『芸能夢舞台』 風さやか花に舞う

★ 風さやかが12月18日、大阪NHK大ホールで開催されました年末チャリティー

「芸能夢舞台」に出演いたしました。

風さや流家元としての初舞台でございました。

髪は伊達兵庫に赤いケシの花、そしてきらびやかなラメ飾り、縞模様をいな

せに着て、紅い片袖、花道から「恋の曼陀羅」で厳かに華やかに、歌と踊りで忘

れ得ぬ人とは、そして「虞美人」「夢

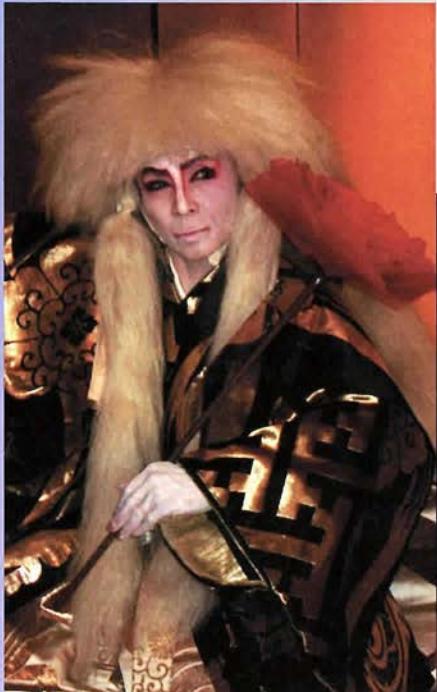
の日本」、最後はタカラヅカ名物の「深

川マンボ」という構成でお見せいたしま

した。



生田神社2006年頭拝直会に 獅子を舞う風さやか&森田まさお



上は「獅子」を舞う風さやか、中は加藤宮司と共に、右はオーボエを奏でる森田まさお 生田神社で



元タカラジェンヌの皆様を
ゲストに招いてのトーク番組
風さやか 愛と夢♥永遠のタカラジェンヌ
毎週日曜 PM11:00～PM11:30 ラジオ関西 558にて好評ON-AIR
提供／おしゃれは足元から…神戸・三宮 **靴のモリタ** 078-391-9283

月のめでたさを雄壮に
踊りました。2006年
は震災から11年目。今年
もハッピーに。

★さて年もあらためた1月10日は、神戸生田神社の年頭拝。尊敬する加藤隆久宮司様から年頭拝の直会に舞い初めをとのお話があり、私は張りきって「獅子」毛頭を振つて、紅白の牡丹の花をかざして、お正月のめでたさを雄壮に踊りました。2006年は震災から11年目。今年もハッピーに。

年にあたり200名が出席、私もお祝いにかけつけショーケースを披露いたしました。平成音楽大学名誉理事長の叔父は「歌は、一日で歌詞も音程も憶えなくてはだめだ」と厳しく私を仕込み、12人編成のバンドを指揮して、笠置シズ子や美空ひばりの歌などをしっかり身につけ、今でも正確に歌えるのはその特訓のおかげです。平成音楽大学はいとこの出田敬三が学長という音楽家。尊敬する叔父の受章は本当に嬉しく、喜んで歌つたり踊つたり『嬉しかばい！よかつたばい！』

2月23日
オープン

波止場町
TEN×TEN
クリエイター
ブース散策

さんは、高
校時代から
のおつきあい。

プロダクト
デザイナー
とジュエリ
ーデザイナ

デ
ザ
イ
ナ
ー



神田さんの作品

1や俳優が舞
台でつけるア
クセサリーのデ
ザインなどを手が
けている。そんな
2人の感性が出会つ
たブース名「4 Pass」
は、2人で、ゆっくりと散歩
するという意味。

「波止場町 TEN×TEN」
の出展者は、趣味の域を越え
た作品を作る人たちばかり。
プロばかりです。ここに来た
らおもしろいものがあると、
きっと皆さんに思っていただ
けるはず」と神田さん。作品
との出会い、若い感性との出
会い、人との出会い：街の物
販店では出会えない楽しみが
ある「波止場町 TEN×TEN」
に期待は大きい。



中川さんの作品「boogie woogie chair」
© Studio m+c

家具とジュエリーのコラボブース
「4 Pass」(クアトロ・パッシ)

波止場町の上屋1号・2号倉庫を活用してオープンする「波止場町 TEN×TEN」(村上和子理事長)がよいよ2月23日にオープン。さまざまなアーティストたちが、オリジナル作品を展示・販売するブースが並ぶ。その中でもひときわおしゃれな、若手女性コンビのブースをご紹介。

中川真由美さん、神田裕子

野でアジア雑貨のお店を開いていた経験もある。ジュエリーデザイナーとして、ダンサー

1デザイナーとして、
ダンサーの専属マネージャーとして、ダンサ



中川さん(左)神田さん(右)

2月12日「Hamlet in Tango」(松方ホール)
ジュエリー担当・神田さんの作品



■波止場町 TEN×TEN主催／問い合わせ
NPO法人神戸グランドアンカーコム中央区東町122
日本真珠会館3階 ☎078-332-3185

エチゼンクラゲをフルーツポンチに コリコリとした食感はまるでナタデココ

かね徳 東村具徳さん



見よ！この大きさ



食感はまるでナタデココ265g・500円

昭和 26 年に、国内初となる創作の珍味「くらげう」を販売した水産加工メー カー「かね徳」。現在では、白虎えびやたこわさび漬けなど、約 1200 品目にものぼる海産物を取り扱っている。商品開発を担当する東村具徳さんは 3 代目にあたる。伝統の味を継承しながら、

新しい商品の開発に余念がない。東村さんは、3 年前から日本海近海で大量発生しているエチゼンクラゲに悩む京都府漁業協同組合連合会から、クラゲが漁にもたらす大きな被害を低減させる対策はないかと相談を受けた。

しかし、扱うのが巨大エチゼンクラゲとなると話は別。黄河河口付近で発生したエチゼンクラゲは、日本海に沿って北上するにつれて巨大化する。100キロを超えるものも少なくはない。巨大クラゲは、味が渋く、臭味が強いことから食用には適していないとされてきた。この課題を克服するために、東村さんは 100 回にも及ぶ実験を繰り返した。その結果、巨大クラゲの渋味は砂糖を加え甘さで抑え、臭味はラム酒を加えることで克服すること

に成功した。そして完成したのが「フルーツポンチならぬ「くらげポンチ」(265g 500 円)。食べてみると、コリコリとしたナタデココの食感によく似ている。多数のマスコミに取り上げられたこともあり、インターネットを通じて販売個数も増加した。売上の一部は、京都の伊根町漁協（京都）に還元されている。

クラゲの成分は、ほとんどが水分。全体の容積を 100 パーセントとしたらそのうちポンチに利用できるのは 5 パーセントほど。仕込みなどすべて手作業のためコストが高く、採算ベースに乗るまでには、まだまだ課題が山積み。

「おかげさまで、たくさんの方から美味しいとう評価をいただきましたので、味のほうは自信をもっています。この味をもっと一般に普及させるには、コスト面をどう抑えいくかが今後の課題」と東村さん。お得意のくらげとの格闘は当分つづきそう。

株式会社かね徳



新規開拓に意気込む。そこで、東村さんは、これまでの経験を活かして、新たな商品開発に着手。その第一歩として選んだのが、エチゼンクラゲをフルーツポンチに仕立てることだ。

「エチゼンクラゲは、そのままでは食べ難い。でも、フルーツポンチにすることで、簡単に食べられるようになります。また、味も豊かになります。そして、見た目もかわいいです。」

実際に試してみると、想像以上に美味しかった。東村さんは、この商品が大ヒットになると確信した。しかし、実際に販売すると、予想以上の反響があった。多くの消費者が、この商品を「まるでナタデココ」と形容するほどだった。

「これは、大きな市場がある可能性がある」と東村さんは思った。

そこで、東村さんは、

「この商品をもっと多くの人に届けたい」という想いから、開拓活動を始めた。

「まずは、近隣の飲食店に

「お問い合わせ」

「六甲山四季彩奏空間 —RCN CUBE ARTS PLACE—



独自の視点で六甲山の活性化をおこなってきたNPO法人六甲山と市民のネットワーク（RCN）が5年間の活動の集大成として、新たに「六甲山四季彩奏空間—RCN CUBE ARTS PLACE」を開設する。自然と調和しながら、あらゆる芸術が融合する場所として注目のスポットとなる。

昨年12月17日に、一

般公開に先駆けてレセプションがおこなわれた。前日に降り積もった雪景色を眺めながら、参加者たちは六甲の四季折々の食材を盛り込んだ創作料理に舌鼓を打ち、ピアノの演奏とアート作品に彩られた空間を心ゆくまで愉しんだ。

「日常の生活の中で六甲山をどのように楽しむか。リピーターを増やしていく」と、RCN統括マネージャー中野真紀子さん。今後はこの空間を核に、「いこう150万人六甲山」などさまざまな活動で、六甲山の活性化を推進する。

■利用申込・問合せ
☎ 078-891-0373
<http://www.tokkosan.org/>

ボクは精霊ビッグ・・・

ここは神戸御影公会堂。

昭和8年に建てられました。

ボクは、ここで小女と出会いました。彼女の名前はあすか、ぼくの姿を見ることができる、笑顔がすてきなたつた一人の人間の子供でした。

ボクたちはよくここへ来て、一緒に遊びました。あすかは、よく言ってました。

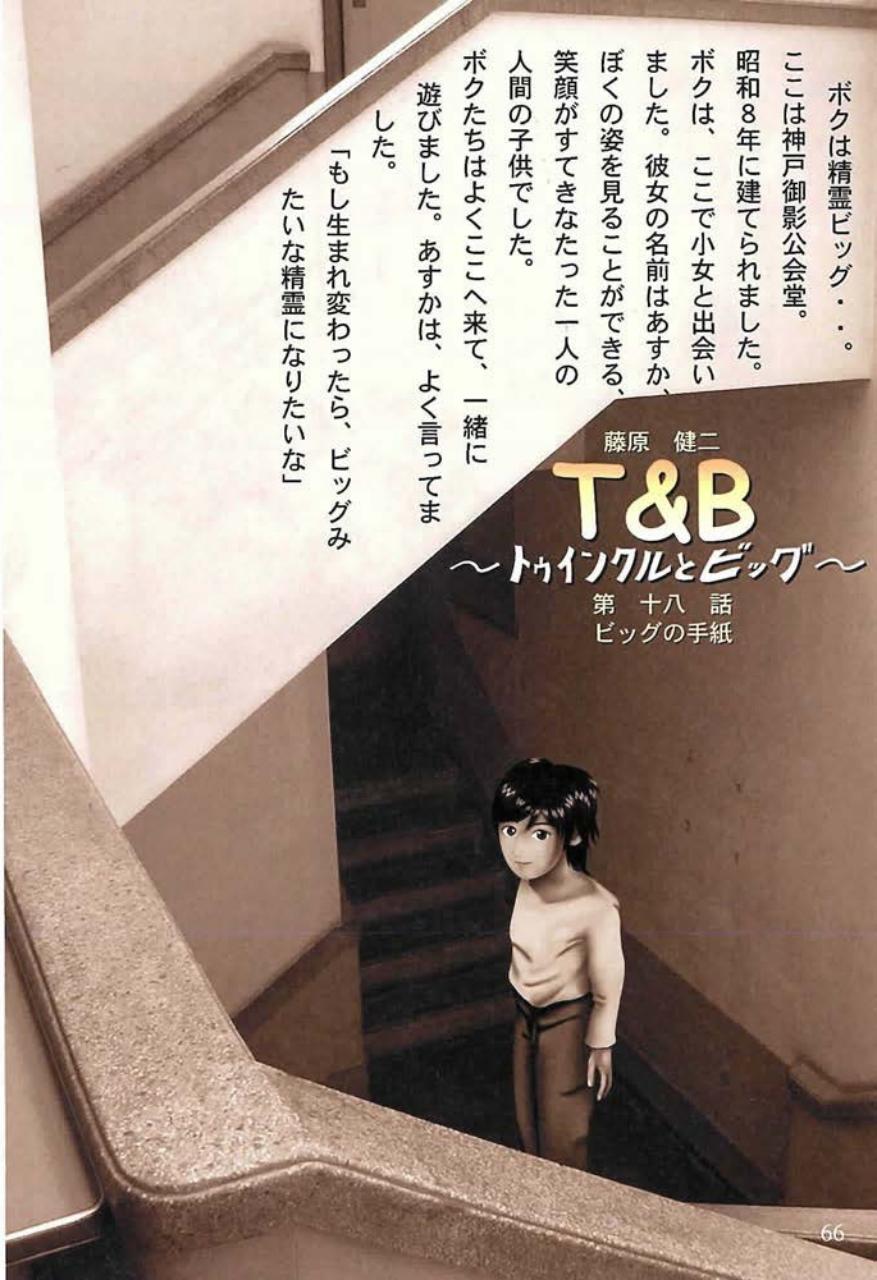
「もし生まれ変わったら、ビッグみたいな精霊になりたいな」

藤原 健二

T&B

～トゥインクルとビッグ～

第十八話
ビッグの手紙



昭和20年、戦争で神戸の街は焼け野原になってしまいました。
御影公会堂は無事でした。
それから毎日、ボクはあすかが心配で、いつもここにきました。
ここへ来ると、きっとあすかが来ると思ったからです。
しかし、どんなに待っていても、あすかが来ることはありませんでした。



たくさんの人の命を奪った戦争。

ボクは、どうして人間は命を奪い合うんだろう?と思いました。

ボクは、あすかの夢を見ました。

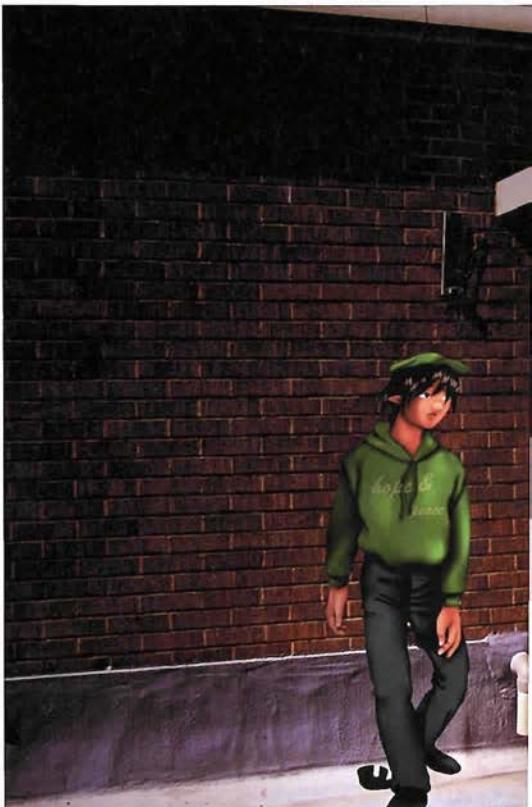
「ビッグ、人間は時々どうしようもなく間違ったことをしたりすることもあるけど、そんな時、誰かに優しさをあげたり、助け合ったりするのも人間なんよ···だから、決して人間を嫌いにならないでね」

戦争が終わり、数10年がたつた頃、神戸を阪神・

淡路大震災が襲いました。震災はたくさんの命を奪いました。ボクは、そんな中で人々が、お互い助け合っているのを、この御影公会堂で見ました。ボクはあすかが言つたように、人間は捨てたもんじゃないと、思えたでした。

ボクは今も、これからもずっと、この街の人々が優しい気持ちを忘れないことを、祈り、見守り続けていこうと思います。この大きな、ずっと変わらない建物と一緒に···。

「ビッグ生まれ変わつても、あなたとわたしは、ずっと友達だよ···」



神うやぶりの 源平浮世絵

薩摩守忠度の辞世の和歌「旅宿の花」

中右瑛



薩摩守忠度と岡部六弥太忠澄との対決の図
歌川国芳画

寿永三
年（一一
八四）二
月七日、
一の谷合
戦で敗退し、

はかなく
も散つて
いつた多
くの平家
の武将たち。
中でも、
平忠度の
あつた。

源平の合戦では、一の谷の西陣で総大将を務めた。しかし義經の奇襲に遭い、敗れて駒ヶ林の船着場を目指して落ち延びる途中、源氏方・猪俣党の岡部六弥太忠澄と遭遇、忠度は岡部と取り組み三度刺したのだが、駆けつけた岡部の家来に背後から片腕を斬り落とされてしまった。もはやこれまで、忠度は観念してその場に正座し、念佛を唱えはじめた。

〔御名を名乗り給え〕

と問われたが、忠度は名乗らず

〔討て！〕

忠度は死に直面しても名を明かさなかつたが、
と言つて首を差し伸べ、最期を遂げたといわ
れる。

最期は壯絶で哀しい。

昔の学生たちは「薩摩守」と洒落て、無賃乗車をしてかしたものだが、そんなふうに親しまれた薩摩守忠度（タダメノリ）は、清盛の六番目の末弟。當時四十一才。男盛りの知将で、とくに父・忠盛の文才を継いで歌道に秀でていた。文武両道の士として有名である。

和歌には自信があつたと見えて、次のようなエピソードが残されている。

暇乞いに和歌の師・藤原俊成を訪ね、自詠歌集

平家一門都落ちの時、わざわざ引き返して、

「旅宿の花」は、その前夜、須磨寺の桜の下
くも哀しい逸話である。

「旅宿の花」は、その前夜、須磨寺の桜の下

で詠じたものである。

行きくれて

木の下かげを宿とせば

花やこよいの

あるじならまし

これが、はからずも忠度の辞世の歌となつた。

忠度が討たれた駒ヶ林には、腕塚があり、いままも参詣者が絶えない。腕塚の地名も残されてゐる。近くの野田町には忠度塚があり、これは腕塚に対して「胴塚」と呼ばれている。

図は、夜半の須磨寺境内。桜が咲き乱れる美しくも静かな今宵。白い愛馬をはべらし、多くの家臣たちに囲まれ、中央には和歌を詠ずる忠度。実に美しい場面である。

この図は、一幅の名作絵巻。時期的には桜は少しはやいが、絵師は和歌から想像して抒情たっぷり夢幻の世界を映し出している。絵師・国芳は源平浮世絵の傑作を数多く描いたが、これほどの華麗な抒情の場面は少ない。

合戦前夜の不思議な静寂。明日の血みどろの戦いを、この絵からは想像すら出来ない。

激動する乱世のうつろい、盛者必衰の無常、人間のはかなさ、この絵から、さまざまな感慨が見てどれ、見る者は強く心をうつ。



■中右瑛（なかこうえい）
抽象美術家。浮世絵・夢ニエッセイスト。
九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展
において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美
術賞受賞。浮世絵内山賞、半どん現代美術
大賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受
賞。行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。
著書多数。

